

# HTML TIPS & TRICKS

第 49 回

## 誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

藤井幸孝 / 大内 勇 / 高橋登史朗

今月は少々変り種のサンプルを集めてみた。ウェブページを彩るテクニックは、タグやスタイルシート、JavaScriptだけではない。その周辺のさまざまな技術や、サイト運営に役立つ知識にも気を付けておく必要があるだろう。そろそろIE 6のうわさも聞こえてきたが、ちょっと一休みして、ウェブページを使ったトリックを楽しんでみよう。



CD-ROM収録先  Magnavi Ip0103 Hhtmltips  
今月号のTIPSをすべてCD-ROMに収録!!

### このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(1月10日現在)。これを参考に使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ4以上



インターネットエクスプローラ5以上



インターネットエクスプローラ5.5以上



ネットスケープナビゲーター4以上



ネットスケープ6以上



Mozilla(数字はMilestoneの番号)



## 2月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

1問目はスタイルシートのごく基本的な問題なのだが、解答者が少なかったのは残念だ。2問目は先月の出題欄で示したファイルを探せばすぐ分かる。なお、出題者も気づかなかったOPTION:before { content: url(item.gif); }という別解を送ってくれた方がいた。



### ANSWER 1 メニューを色分けせよ!

ごく基本的なスタイルシートの問題。<OPTION>タグにスタイルシートの「background-color」で1つずつ別の色を付けていく。色をグラデーションにしたり、同じグループのものに同じ色を付けたりするなどの応用が考えられる。

```
<SELECT SIZE="1" NAME="ken">
<OPTION STYLE="background-color: #FF8080;" VALUE="1">北海道</OPTION>
<OPTION STYLE="background-color: #FFFF80;" VALUE="2">青森</OPTION>
:
</SELECT>
```



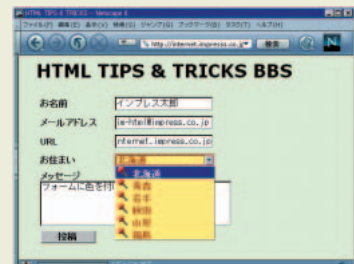
### ANSWER 2 メニューに画像を入れる!

<OPTION>タグに「display」と「list-style-position」を指定すると、<LI>タグと同じようなスタイルシートの設定が有効になる。あとは、「list-style-image」で画像ファイルを指定すればいい。

```
<STYLE TYPE="text/css">
OPTION {
display: list-item;
list-style-position: inside;
list-style-image: url("bullet.gif");
}
</STYLE>
```

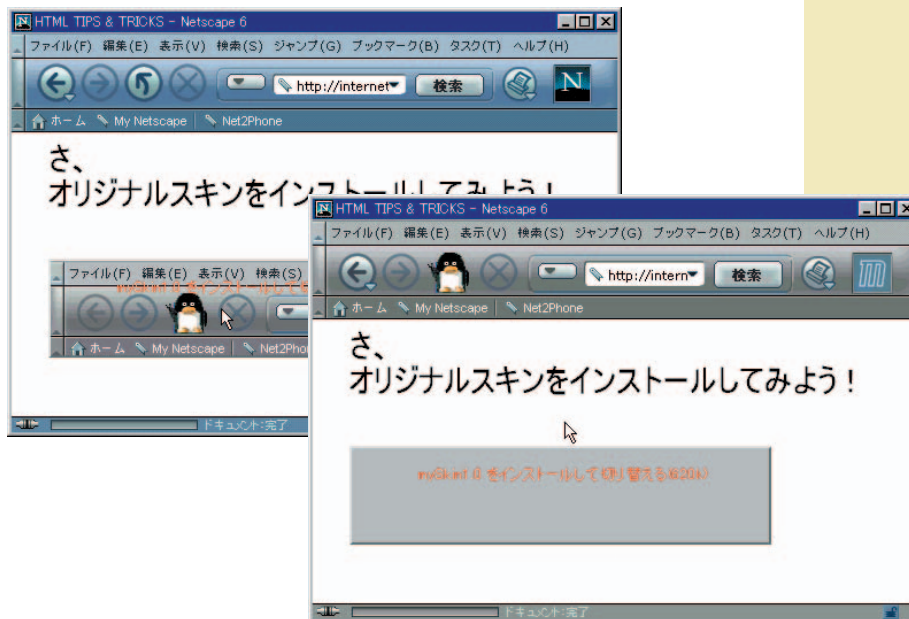


正解者: 坂部和久さん、TROOMさん、Masahiko Murataさん、富園慎一郎さん、ENDEさん、山口雅仁さん、たいきさん、よしともさん



正解者: 坂部和久さん、Masahiko Murataさん、富園慎一郎さん、ENDEさん、山口雅仁さん、たいきさん、よしともさん

# テーマをカスタマイズする



```
<RDF:Description about="urn:mozilla:skin:mySkin/1.0"
chrome:displayName="mySkin/1.0"
chrome:author="(^^)/ myName "
chrome:description="mySkin for NN6/Mozilla hoge@***.ne.jp"
chrome:name="mySkin/1.0"
chrome:image="jar:resource:///chrome/mySkin.jar!global/skin/preview.gif">
</RDF:Description>
```

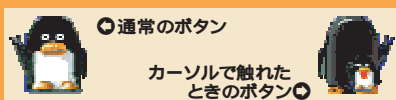


毎日使っているブラウザだから自分の気に入ったデザインにしてみたい。そんなあなたのご要望にお応えして、今回はブラウザカスタマイズのTIPSだ。Mozillaやネットスケープ6のボタン類はほとんどがGIF画像で作られている。そう、つまりそうした画像を取り替えれば、ブラウザのボタンを自分の好きなものに付け替えられるというわけだ。かわいいキャラクターやかっこいい画像を埋め込んでオリジナルのテーマを作ったら、先月のインストールボタンにセットして、ホームページで配布しよう。びっくりしてもらえそうけあいた。(高橋登史朗)

## Point

今回は、「再読み込み」ボタンの画像を取り替えて自分専用のブラウザを作り、ついでに配布もしてしまおうという企画だ。これができたら他の画像も取り替える方法は同じだから、どんどん挑戦してみてください。

ネットスケープ6やMozillaの「再読み込み」ボタンはGIF画像で、「中止」「戻る」「進む」ボタンなどもみな同じだ。カーソルで触れたときに切り替わる画像は、CSSの「hover」で指定されている。HTMLのページを作るのと同じ仕組みなのだ。



まず、34 x 34ピクセルのオリジナル画像を2つ用

意する。通常のボタン (reload.gif) とカーソルが触れたときのボタン (reload-hover.gif) だ。次に、改造用のファイル一式がCD-ROMに収録してあるので、それを自分のハードディスクにコピーする。CD-ROM内のTIPS & TRICKSのページに説明があるので参照してほしい。ディレクトリーの下にchromeというフォルダーがあるので、この下にあるmySkin.zipというファイルを解凍する (CD-ROMに収録されているWinZipなどを使用)。解凍してできるフォルダー以下が今回用意した改造用テーマ (スキン) の内容だ。自分で用意した「再読み込み」ボタン用画像は、「mySkin」「navigator」「skin」という場所へドラッグアンドドロップしてファイルを置き換える。基本的な作業はこれだけだ。あとは、mySkinというフォルダーをzip形式で1つのファイルに圧縮してから、圧縮されたファイ

ル名の拡張子「.zip」を「.jar」へ変更すると先月紹介したスクリプトでインストールできるようになる (CD-ROM参照)。

テーマに自分の名前やコメントを付けたいときは、上記のソースを見てほしい。これはmySkinフォルダーの下にあるmanifest.rdfというファイルの一部だ。圧縮する前に書き換える部分は以下のとおり。

```
chrome:displayName="表示される名前"
chrome:author="制作者名"
chrome:description="コメント"
```

日本語を使う場合は文字コードをUTF-8にしておくとうい。でき上がったらさっそく自分のページに置いて配布開始だ。

# 右クリックメニューを禁止する



1

```
<SCRIPT TYPE="text/javascript">
var str = "この画像は保存できません";
function mdown (e) {
  if (document.all){
    if (e.button == 2) { alert (str); }
  }
  else if (document.getElementById) {
    if (e.button == 3) { alert (str); }
  }
  else if (document.layers){
    if (e.which == 3) { alert (str); }
  }
}
function mup (e) {
  if (e.button == 3){
    if (e.preventDefault) { e.preventDefault (); }
  }
}
</SCRIPT>
```

2

```
<IMG SRC="asahi-yama.jpg"
onMousedown="mdown (event);"
onMouseup="mup (event);">
```

POINT

このTIPSはIE 4、5、5.5およびネットスケープの4と6、Mozillaに対応させたので、ソース①の関数「mdown」の中に多くのif～else文を用いたが、ポイントとなるところは条件の「e.button」と「e.which」だけだ。

先にソース②から説明する。これは<IMG>タグにマウスイベントを拾うJavaScriptを仕込んだもので、マウスボタンを押したとき (onMousedown) とマウスボタンから指を離れたとき (onMouseup) に、ソース①の関数「mdown」と「mup」を呼び出すように指定している。それぞれのかつこの中にある「event」はいろいろなマウス情報を保持しているもので、これを引数としてソース①の関数に渡している。

ソース①の関数mdownはマウスボタンを押した

ときに、関数mupはマウスボタンから指を離れたときに実行される。2つの関数では、マウスイベントで渡された値 (event) を「e」として扱っている。関数mdown内のif～else文はブラウザの振り分けを行うもので、最初のif文 (document.all) はIE4以上に適用される。IEは右クリックしたときの値に「2」が割り振られるので、かつこ内 (ここでは警告ウィンドウ) が実行されるのだ。次のif文 (document.getElementById) はネットスケープ6やMozillaで適用され、右クリックの値は「3」に、最後のif文 (document.layers) はナビゲーター4で適用され、右クリックの値は「3」になる。マウスボタンの値の扱い方は次のとおり。

event.button : IE4、5、5.5、  
ネットスケープ6、Mozilla

event.which : ナビゲーター4

ちなみに、左クリックも上記の方法で拾えるが、この場合の値は「1」になることも覚えておこう。

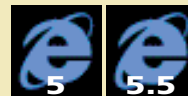
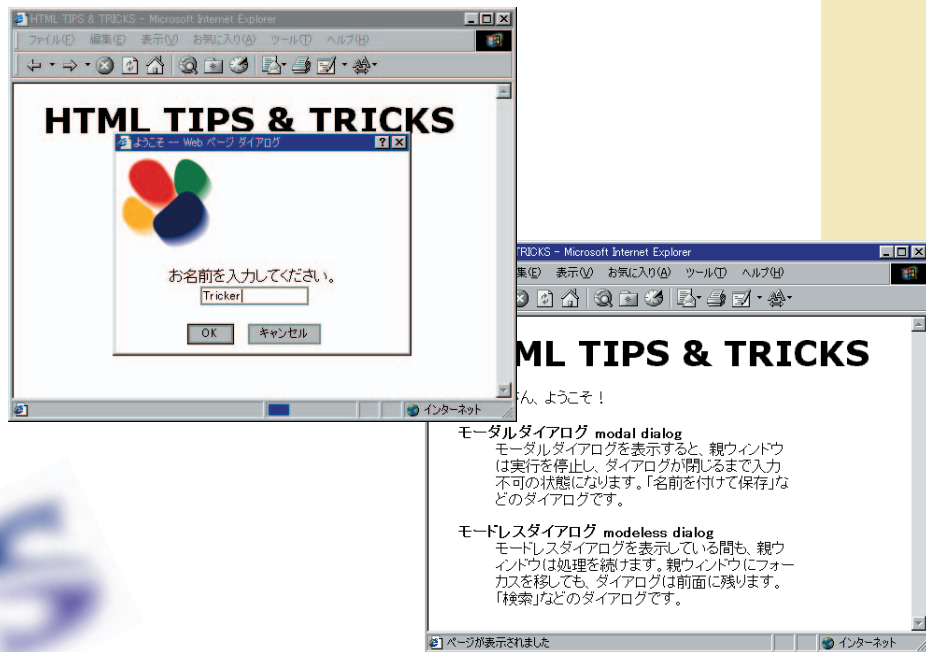
関数mupはネットスケープ6やMozillaで右クリックメニューを表示させないための処理だ。この関数はほかのブラウザでは実行されないようになっているので、JavaScriptエラーが表示されることはないので安心だ。

ソース②のマウスイベントを<BODY>タグに設定することで、ページ全体に対して右クリックを禁止することもできる。ほかにも右クリックメニューにオリジナルのメニューを表示させるなどの応用方法が考えられるので、スキルのある読者はチャレンジしてほしい。



ホームページに自分の作品として画像を掲載する場合に、ページに著作権に関する表記をして画像の転載に注意をうながしている人もいるだろう。しかし、画像の上でマウスの右ボタンをクリックすると「画像を保存」などのメニューが出てくるので、保存しようと思えばできてしまう。そこでここでは、右クリックメニューを制限する簡単なTIPSを紹介する。左はこのサンプルで、画像の上で右クリックした直後の状態を表したものだ。通常ならブラウザの右クリックメニューが表示されるのだが、このサンプルでは警告ウィンドウが表示される。それではソースを見て試してみよう。(大内 勇)

# ダイアログを簡単に作る



「ダイアログ」とは、ソフトウェアのメインウィンドウに対して、機能呼び出しや設定をしたりするための小さなウィンドウのことだ。ワープロの「ファイルを開く」や「検索と置換」などがそれだ。ウェブをOSのインターフェイスとして活用しようとしているマイクロソフトは、普通のソフトウェアも記述できるようにJavaScriptの拡張を続けている。ここで紹介するダイアログ作成機能はその1つだ。openメソッドとは違い、つねにメインウィンドウより前面に表示できるし、メインウィンドウとの間でデータのやり取りもできるといった、本格的な機能を備えている。（編集部）



1

```
<P ID="para1" STYLE="visibility: hidden;">
<SPAN ID="username"></SPAN>さん、ようこそ！
</P>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
str = showModalDialog("dialog.htm", "",
"status:no;dialogWidth:320px; dialogHeight:240px");
if (str) {
  username.innerText = str;
  para1.style.visibility = "visible";
}
</SCRIPT>
```

2

```
<BODY onLoad="returnValue='';">
<FORM
onSubmit="returnValue=this.username.value;
window.close(); return false;">
お名前を入力してください。 <BR>
<INPUT NAME="username"><BR>
<INPUT TYPE="submit" VALUE="OK">
<INPUT TYPE="button" VALUE="キャンセル"
onClick="window.close();">
</FORM>
```

POINT

このサンプルページを開くと、「HTML TIPS & TRICKS」というタイトルが表示されてから、画面の中央にダイアログが現れる。「OK」が「キャンセル」ボタンを押してダイアログを閉じるまでは、ブラウザのウィンドウは操作できない状態になる。名前を入力して「OK」ボタンを押すと、「～さん、ようこそ！」というメッセージがブラウザのウィンドウに表示される。このようなダイアログを表示させるには、IE 5以上に用意されているshowModalDialogメソッドかshowModelessDialogメソッドを使う。この2つのメソッドの違いは、前者が「モーダルダイアログ」を開くのに、後者は「モードレスダイアログ」を開く点だ。モーダルダイアログでは、このサンプルやワープロの「ファイルを開く」ダイアログのように、閉じるまでメインウィンドウの動作が停止する。「モードレスダイアログ」は、

ワープロの「検索と置換」のように、ダイアログを開いている間もメインウィンドウを操作できるタイプだ。

この2つのメソッドの第1引数にはダイアログの中身になるHTMLファイル、第3引数にはオプションを指定する。第2引数の使い方については次号以降に説明しよう。第3引数は、お馴染みのopenメソッドのように、ダイアログの大きさなどを指定するものだ。ソース①のように、「dialogWidth」でダイアログの横幅、「dialogHeight」で縦の高さ、「status」でステータスバーの有無を指定する。スクロールバーの有無を指定する「scroll」やユーザーがサイズを変えられるかどうかを指定する「resizable」などのオプションもある。openメソッドとは違い、「status:no,scroll:yes」のよう

にように「:」でオプション名と値を区切る。

ダイアログは値を返すこともできる。次のようにダイアログを呼び出すと、ダイアログが閉じたあとに変数「x」に値が入る。

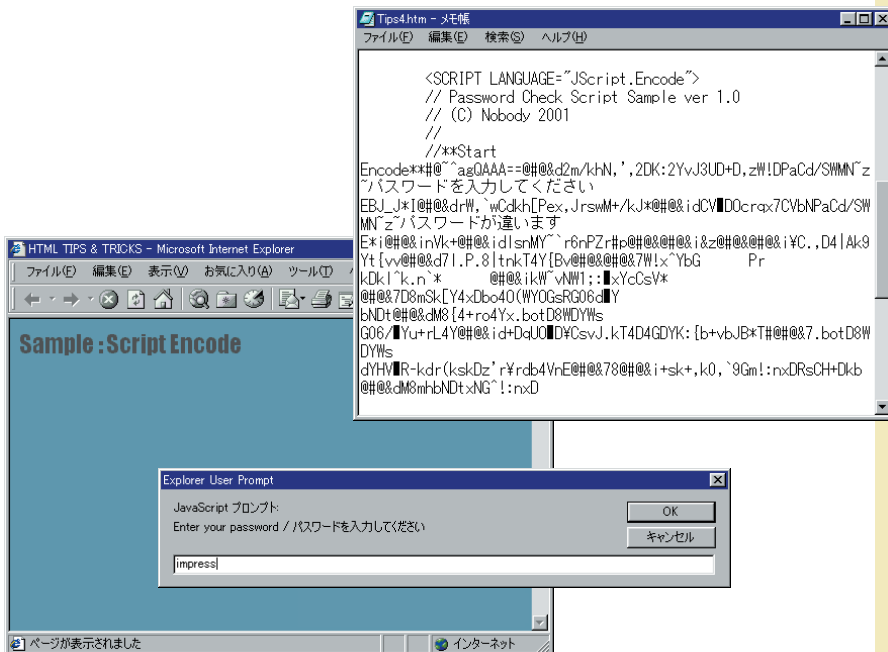
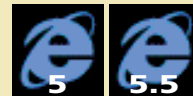
```
x = showModalDialog(.....);
```

ダイアログ用のHTMLに書くスクリプトでは、「returnValue」という変数に値を入れると、それがダイアログの戻り値になる。

```
returnValue = "Taro";
```

これで、メインウィンドウのスクリプトの変数xに「Taro」が入るようになるわけだ。ソース②ではユーザーが入力した名前を戻り値にしている。次号では、ダイアログの機能をさらに活用したページを紹介することしよう。

# スクリプトを隠す



ウェブページに使われているスクリプトは、人間にも読めるテキストの状態で見えているので、誰にでもその内容が見えてしまう。ピギナーにとっては勉強しやすい反面、会心のできばえのスクリプトを自分だけのものにしておきたい人や、クイズゲームを作ろうとしている人は、今までこのことに悩まされてきた。また、できのいいスクリプトこそ共有しようというオープンソース派の人にとっても、IDとパスワードを照合するようなプログラムを作るには、この「誰でも読める」という特徴は悩みの種になる。今回はスクリプトの内容を隠してしまう異色のTIPSを紹介しよう。(藤井幸孝)

## 変換前

```
<SCRIPT LANGUAGE="JScript">
// Password Check Script Sample ver 1.0
// (C) Nobody 2001
//
//**Start Encode**
passwd = prompt ("Enter your password / パスワードを
入力してください", "?");
if (passwd != "impress")
alert ("Invalid password / パスワードが違います");
else
alert ("OK !");
</SCRIPT>
```

## 変換後

```
<SCRIPT LANGUAGE="JScript.Encode">
// Password Check Script Sample ver 1.0
// (C) Nobody 2001
//
//**Start Encode**#@~^rgAAA==@#@&d2m/khN',2DK
:2YvJ3UD+D,zWIDPaCd/SWMN~z~パスワードを入力して
くださいIEBJ_J*I#@&drW,'wCdkh[Pex,JrswM+/kJ*#@
&idCV DOcrqx7CVbNPACd/SWMN~z~パスワードが違
いますE'i#@&inVk+@#@&idIsnMY~`r6nPZr#p#@&i5SYA
AA==^~@</SCRIPT>
```

## POINT

IE 5以降では、JavaScriptやVBScriptの内容を人間には判読できない文字列に変換して、のぞき見を防ぐ機能が使えます。まず「Windows Script Encoder」というツールをダウンロードしよう。マイクロソフト社のサイトで手に入る。

[www.microsoft.com/japan/developer/scripting/](http://www.microsoft.com/japan/developer/scripting/)

Script Encoderをインストールすると、スタートメニューからこのツールのヘルプを開けるようになる。詳しい使い方や注意点が紹介されているので、ここでは簡単な紹介にとどめよう。はじめに、いつもと同じようにスクリプトを作成する。言語の指定には<SCRIPT Language=Jscript>としておこう。続いて、スクリプトの変換したい部分の始まりを示すために「//\*\*Start Encode\*\*」という行を挿入しておく。著作権表

示や注意書きは、この行より前に書いておこう。HTMLファイルができたなら、ツールを使ってスクリプトを変換する。MS-DOS プロンプトで次のコマンドを実行すると、新たにファイルが作成される。そのままでは「コマンドまたはファイル名が違います」とエラーが出るので、インストールしたフォルダーにある「screnc.exe」をC:\¥Windowsにコピーしておくとういだろう。

screnc 変換前のファイル名 変換後のファイル名

テキストエディターなどで変換後のファイルを開いてみると、スクリプトがわけのわからない文字列になっているのがわかるだろう。これで簡単にプログラムを盗み見ることはできなくなった。言語指定の部分が<SCRIPT Language=JScript.Encode>と変わっているのが完了の印だ。

いくつかの注意点がある。まず、スクリプトの中の2バイト文字は暗号化されないで残る。日本語を使ったクイズの答えを隠すには使えないのが残念だ。また、この変換はあくまで簡単なエンコードにすぎず、強力な暗号化ではない。重要な情報を隠すのには向いていないので注意しよう。変換後のファイルは、スクリプト部分とHTML部分のいずれでも、1文字でも変更すると動作しなくなる。HTMLファイルが完成したあと、最後に変換しよう。

Script Encoderで変換したスクリプトは、ナビゲーターでは動作しないし、多用するとウェブをつまらないものにしてしまうかもしれない。おもしろいスクリプトを参考にするのは、スクリプトの腕を磨く一番の近道だからだ。どうしてもという場合の切り札として覚えておけば十分だろう。

# HTMLパズルに挑戦しよう

## 隠されたトリックを解き明かせ！



大好評発売中！



今月のテーマ

### ・<OBJECT>を制する・

IEでActiveXコントロールを埋め込むためのタグとして出発した<OBJECT>は、HTML 4で採用されて、汎用的なマルチメディア用のタグとなった。<IMG>の代わりに画像を埋め込むこともできるし、<APPLET>の代わりにJavaアプレットも指定できる。ただし、HTML 4で規定されている機能は、IEもネットスケープも完全にはサポートしていない。今月は、<OBJECT>タグをHTML 4のやり方で活用するパズルに挑戦していただく。正解者には抽選で1名にオリジナル折りたたみ傘をプレゼントさせていただく。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“<OBJECT>を制する”にチャレンジ！

### 「HTMLパズルに挑戦しよう」

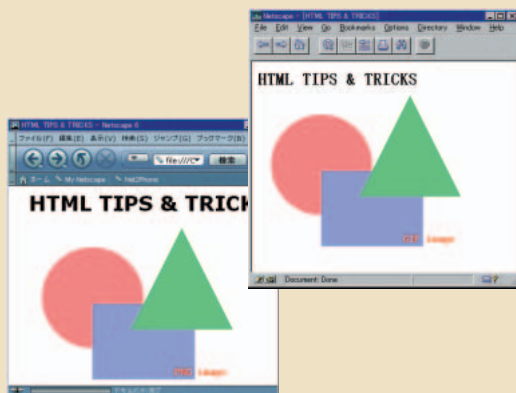
宛先

正解がわかった人も、わからなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず  
HTML TIPS & TRICKS  
の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ [im-html@impress.co.jp](mailto:im-html@impress.co.jp)

なお、締め切りは2月10日とさせていただきます。

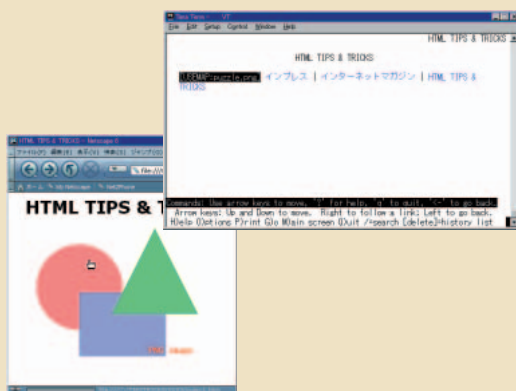
### QUESTION 1 6でPNG、3でGIF!



HTML 4.0式の<OBJECT>タグの魅力は、ブラウザの機能に合わせて、表示させたいファイル形式をいくつも指定できることだ。左のサンプルは、同じページをネットスケープ6とナビゲーター3で画像を表示させたところだ。ネットスケープ6ではPNG形式の画像が、PNGをサポートしていないナビゲーター3ではGIF形式の画像が表示されている。JavaScriptでブラウザに合わせてタグを作成しているわけではないし、<EMBED>タグを使っているわけでもない。<OBJECT>タグを活用してこんなページを作ってみよう。なお、ナビゲーター4はバージョンによってはPNGをサポートしているが、このサンプルではGIFを表示する。

🔗 入れ子にする.....

### QUESTION 2 Lynxにマップを見せる!



HTML 4では、<OBJECT>タグによってイメージマップの機能が強化されている。画像やマウスをサポートしないブラウザでもウェブページが自然に使えるような工夫がなされているのだ。左のサンプルは、<OBJECT>タグで作った同じイメージマップをMozillaとテキストブラウザのLynxで表示させたところだが、Mozillaではイメージマップが表示され、Lynxではイメージマップの中のリンクが普通のリンクとして表示されている。さて、どんなふうになっているのだろう。なお、ウィンドウズ版よりもHTML 4への対応が進んでいるマッキントッシュ版のIE 5では、このタイプのイメージマップに対応している。

🔗 あのタグで領域を指定する.....



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)